

外務省説明資料

令和8年9月



外務省

Ministry of Foreign Affairs of Japan

日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境の整備（外務省）

令和8年度予算額 17,490百万円

事業目的・背景・課題

世界各地で自然災害、テロ・戦争、事件・事故等が発生する中、日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境を整備し、海外における治安、災害への不安等を払拭することを通じて、アウトバウンドの回復に貢献する。

事業内容・事業イメージ

- 日本人旅行者の不安等を払拭すべく、安全情報収集・発信、邦人からの相談対応、緊急時の邦人保護の拠点ともなる在外公館施設の避難所機能等の強化、緊急時の邦人退避等に取り組み、安全・安心な海外旅行環境を整備する。



「たびレジ」の利用促進による邦人保護のための情報の集約・発信強化



緊急時の情報収集・利活用、連絡手段の確保、邦人退避の対応

R8予算事業の取組状況

- ✓ 海外における安全情報の収集・発信、「たびレジ」の登録促進を含む安全対策のための様々な広報、緊急時を想定した自衛隊演習や多国間訓練への参加、海外緊急展開チーム（ERT）要員の研修、無線機材や水・食料品等の緊急時のための備蓄、緊急時に対応するチャーター機等の備え、在外公館における領事サービスの充実化等を通じ、安全・安心な海外旅行環境を整備している。
- ✓ 在外公館施設の老朽化対策等を講じつつ、日本の最新指針等を踏まえた災害時や紛争時の避難先等として、プライバシー確保スペースの設置、地下シェルターの整備等の避難所機能を強化した形での在外公館施設の整備を推進している。

これまでの取組による国際観光振興への効果

各種施策により、中東情勢をはじめ国際情勢が混乱する中でも、日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境を着実に整備。**本年のアウトバウンド回復に貢献。**※1～6月 694万人（前年同期間比5.1%増）

※旅券手数料の引下げを受け、引下げ直後の7月1日～8日（6営業日）までの国内における一般旅券申請件数は、**前年7月の平均的な営業日6日間の約2.7倍、7月全体では約1.6倍を記録**した。

R9 年度国際観光旅客税要求の方向性（外務省）

（１）ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備

背景・目的

- ・観光立国推進基本計画（第５次）に記載された**アウトバウンド回復目標**（2030年過去最高値（2,008万人）超え）**達成に貢献**。
- ・中東情勢や中南米情勢をはじめ、世界各地で自然災害、テロ・戦争、事件・事故等が発生する中、**日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境を整備し、引き続きアウトバウンドの更なる回復に貢献する**。

R9 方向性

- ・緊急時のみならず平時から日本人旅行者に対し**プッシュ型の安全情報を発信**することで日本人旅行者がそもそも危険な状況に陥るリスクを下げる
- ・**「最後の砦」たる在外公館の強化や緊急事態対応能力の強化**により、先般から続く中東情勢のような緊急事態が発生した場合でも、日本人旅行者の安全を確保



（２）インバウンドの戦略的な誘客

背景・目的

- ・現在の観光を巡る課題は、オーバーツーリズム対策にもつながる地方誘客の推進による需要分散や一部外国人によるマナー違反等の個別課題への対応（観光立国推進基本計画（第５次））。

R9 方向性

- ・外務省の在外施設等を活用し、我が国の地方の多様な魅力を効果的に発信することで、**多様な需要を喚起し、地方誘客を促進**
- ・**外国人観光客が日本の文化、習慣、マナー等に沿って観光を楽しむための事前の対日理解を促進**



イメージ：大分県・国東半島の農業文化PR

令和8年度事業について

【ご議論いただきたい事項】

「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」に照らして、今年度実施している事業の継続性、改善点などをどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて予算編成過程において検討

事業名	予算額	事業概要	事業スキーム
日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境の整備	17,490百万円	日本人旅行者の不安等を払拭すべく、安全情報収集・発信、邦人からの相談対応、緊急時の邦人保護の拠点ともなる在外公館施設の避難所機能等の強化、緊急時の邦人退避等に取り組み、安全・安心な海外旅行環境を整備する。	国の直轄事業

今後対応すべき課題と対応の方向性について

【ご議論いただきたい事項】

今後対応すべき課題と対応の方向性について、その適切性、改善点等、さらに検討すべき課題をどのように考えるか。

※具体的な予算措置については、基本方針等を踏まえた議論を行い、課題の優先順位等も踏まえて
予算編成過程において検討

※課題に対する対応については、非予算によるものも含め議論

分野	課題	対応の方向性
需要喚起	日本文化やコンテンツを始めとするソフトパワーは我が国の強みであり、我が国や地域の多様な魅力を効果的に発信することによって、インバウンド需要の喚起に貢献する。	インバウンド需要を喚起するために、在外施設等を通じた情報発信活動や日本の魅力発信を実施。